

『経済のこと、よくわからないまま社会人になってしまった人へ』

池上彰著／海竜社

『図解 自分の気持ちをきちんと伝える技術』

平木典子著／PHP 研究所

『ゆとり世代を即戦力にする 50 の方法』

井上健一郎著／高橋書店

このブックガイドをお読みになっている皆様に、お勧め致します。
「OASIS (オアシス) 文庫に来ませんか。」

OASIS文庫は、本学の総合研究棟1階のエレベーター前にある「学生支援センター」の中にあります。白い4段の書架2台に入っている分の本だけの、ささやかな文庫のことです。大学関係者でしたら、どなたにでもお貸しします。数えてみたら、現在貸し出されている本を除いて、184冊の本がありました。

文庫の持ち主は、私、大河内です。昨年6月～12月までは、「大河内文庫」と呼んでいました。しかし、そもそも「大河内」という苗字がものものしいイメージなので、何だか和緩じの本が横積みになっている感じがするでしょう。そこで、この2月からは、「OASIS文庫」と呼ぶことにしました。それには、次のような経緯があります。

実はこの1月、ある保護者の方が、

「先生のいらっしゃる場所というのは、つまり、大学においてOASIS (オアシス) のような役割をしているということですね。」

と、おっしゃったのです。私は、飛びつくように答えました。

「そうです。おっしゃるとおりです。」

私は2014年4月、学長特命アドバイザーとして本学に着任し、「学生支援センター」に置かれている「学生なんでも相談窓口」の相談員として、仕事を始めました。センターにはカウンターがあって、内側に立ってみると、カフェの女主人に変身した気がして嬉しかったものです。そこで早速、学生支援課にお願いして、湯沸しケトルや各種のお茶を用意していただきました。

一方、私の前職は高専教授（言語系国語）でしたので、担任をしたクラスに置いていた本も多数持っていました。それらを再び学生に提供しようと考えて、書架を1台設置していただきました。これで、今日流行のブックカフェが出来ました。そして、このスペースを、私はOASIS（オアシス）と名付けたいと思っていたのです。

五月病とは、よく言ったものです。ゴールデンウィークが終わった頃から、相談に訪れる学生が多くなりました。中には「生き方が見つからない」と悩む学生もいて、相談員の私の経験だけでは補いきれない、と思いました。現代は、価値観も生き方も多様化している時代です。多様な価値観や生き方を幅広く知るには読書が一番、と私は考えます。そこで、売店の文信堂書店を始め、長岡や新潟の書店めぐりをして、いろいろな本を買集めました。新聞記事から見つけた興味ある本の書名を打ち込んで、アマゾンで購入した本もあります。2台目の書架を、揃えていただきました。センターのスペースから考えて、それ以上は、書架を置くことができません。私は、この2台の書架の本を「大河内文庫」と仮に名付けて、貸し出しを始めました。

OASIS文庫から貸し出された本の一覧表

貸出月	書名	著者名	備考
2014年 6月	経済のこと、よくわからないまま社会人になってしまった人へ	池上 彰	
6月	図解 自分の気持ちをきちんと伝える技術	平木 典子	
6月	10倍好かれる話し方	青空 球一	
6月	脳からストレスを消す技術	有田 秀穂	
6月	「自分の木」の下で	大江健三郎	図書館にあり
6月	「新しい人」の方へ	大江健三郎	
6月	一冊の手帳で夢は必ず叶う	熊谷 正寿	
6月	社会人学入門	浅野 智彦	
6月	脱コンビニ食	山田 博士	
6月	ゆとり世代を即戦力にする50の方法	井上健一郎	

6月	偏愛マップ	斎藤 孝	
6月	経済のこと、よくわからないまま社会人になってしまった人へ	池上 彰	*
6月	伝える力	池上 彰	図書館にあり
7月	10倍好かれる話し方	青空 球一	*
7月	恋することと愛すること	遠藤 周作	
7月	研究者という職業	林 周二	図書館にあり
7月	みんなのNPO	S・バックリン& アソシエイツ、 枝廣 淳子 (訳)	
8月	20代から身につけたいドラッカーの思考法	藤屋 伸二	
8月	書いて稼ぐ	鳩よ!編集部	
9月	東大名物教授がゼミで教えている人生で大切なこと	伊藤 元重	
9月	貢献する気持ち	滝 久雄	
9月	遙けき国 ガーナで	黒羽根洋司	
9月	図解 自分の気持ちをきちんと伝える技術	平木 典子	*
9月	大学4年間でやっておくべきこと	森川 友義	
9月	20代にしておきたい17のこと	本田 健	
10月	ゆとり世代を即戦力にする50の方法	井上健一郎	*
10月	すっきり!からだにいい習慣	石川 恭三 (監修)	
11月	LUNCH PASSPORT		*
11月	言いたいことが言えない人のための本	畔柳 修	
2015年 1月	LUNCH PASSPORT		
1月	アサーティブ 自己主張の技術	大串亜由美	
1月	頭がいい人の聞く技術	樋口 裕一	
1月	アサーション 入門	平木 典子	図書館にあり
1月	7つの心のブレーキを外せばうまくいく「すぐやる」習慣	古川 武士	
1月	伝える力	池上 彰	*、図書館にあり

一覧表をご覧ください。文庫開設の6月は、貸出数が最も多かったです。相談希望者の来ないときには、お茶を飲み、落ち着いて読書をしていく人もありました。まさに、ブックカフェです！また、意識したわけではないのですが、図書館の蔵書と重なっていないのです。文系の私の選書の特徴が出たことは、良かったと思いました。9月、そして2015年1月は相談希望者が多い月でした。来室者数に比例して貸出数が増えているのは、意図に添った現象となっています。

一覧表のうち、学生に2回以上貸出された本は、以下の6冊です。(備考欄に*印をつけたもの)

1. 『経済のこと、よくわからないまま社会人になってしまった人へ』 池上彰
2. 『図解 自分の気持ちをきちんと伝える技術』 平木典子
3. 『ゆとり世代を即戦力にする50の方法』 井上健一郎
4. 『伝える力』 池上彰
5. 『10倍好かれる話し方』 青空球一
6. 『LUNCH PASSPORT』

ある学生が、「(OASIS文庫のなかで) 人気のあるものは、実用書・自己啓発書ですね。こういうの、図書館にあまりないので。」と言っていました。

さて、ここでは、太字で記した1～3の3冊について少し書きます。

『**経済のこと、よくわからないまま社会人になってしまった人へ**』 池上彰

この本は、2004年・海竜社刊ですから、10年以上前の本と言うことになりますが、古びていないのです。それは、著者が「お金と賢く付き合おう」と読者に呼びかけて、「買う」「投資する」「借りる」「世の中をつかむ」「備える」「納める」という6項目を立てて述べているからです。池上の解説は、「すつんと入る」とよく言われますが、「丁寧で、わかりやすい」ということです。

『**図解 自分の気持ちをきちんと伝える技術**』 平木典子

2007年・PHP研究所刊の本です。私はこの本の購入当時、担任をしており、個人的にはアサーションスキルについて集中的に学んでいた折でしたので、同一の

テーマの本を10冊近く持っています。「アサーション」とは、互いの違いを認め、気持ちの良いコミュニケーションを交わすための考え方です。良好な人間関係を作るのに、大切なスキルです。

人との付き合い方に悩む学生に、私はこの本を先ず薦めます。図解が楽しく、深刻になる傾きから救われるように思えるからです。大人の私であっても、他人の不条理な「怒り」などに触れる場面はあり、そんな時に、あの「図解」を思い浮かべて、冷静さを保つことがあるからです。

『ゆとり世代を即戦力にする50の方法』井上健一郎

これは、新しい本です。2013年・高橋書店刊です。実はこの本の青色の帯には、「できる社員に育てる！！」というキャッチフレーズが書かれています。つまり、社員教育をする側に向けて書かれた本なのです。

私は、始めにこの本を就職で悩む学生に読ませて、彼に言いました。

「自分が、どのように上司から見られているかわかったでしょう。弱点を知って補ってみては、どう。」

また、同じ本をある職員の方にも読んでいただきました。彼は、言われました。

「彼らが、どれくらいわからないのかが、よくわかりました。」

というわけで、一石二鳥？の本となりました。

いかがですか。軽い話ばかりになりましたが、哲学書や、私の研究分野（芸能史・公益学）の本、趣味の俳句の本もあります。どうぞ、お越し下さい。

執筆者紹介

大河内邦子

学長特命アドバイザー。学生支援センター：学生なんでも相談窓口相談員。鶴岡高専名誉教授。専門領域は、国文学、日本芸能史、公益学。

『書名』 著者名 翻訳者名 出版社または文庫・シリーズ名 出版年 税込価格

『経済のこと、よくわからないまま社会人になってしまった人へ』池上彰著 海竜社 2004年 品切

『図解 自分の気持ちをきちんと伝える技術』平木典子著 PHP研究所 2007年 1,296円

『ゆとり世代を即戦力にする50の方法』井上健一郎著 高橋書店 2013年 1,188円

『伝える力：「話す」「書く」「聞く」能力が仕事を変える！』池上彰著 PHP研究所（PHPビジネス新書）2007年 864円

『10倍好かれる話し方』青空球一著 彩図社 2013年 1,296円

『LUNCH PASSPORT』ハイングラフィック

[ブックガイド目次へ](#)